

令和5年度就労部会 年間活動報告

目的

障がいのある方を一般就労に繋げるため、障がい者雇用の理解促進を図る。また、就労支援事業所における支援の充実及び重度心身障がいのある方等の多様な働き方について検討し、支援者と情報共有を行っていく。

■企業WG：事業所から就職希望する方が、見学や実習の機会に触れ、就職に向けた意欲を高められるよう、協力企業を開拓していく。また、企業向けの障がい理解啓発・障がい者雇用促進の情報発信を行う。

■事業所WG：市内事業所全体の支援力向上を目指し、研修等を開催する。

■企画WG：やりがいをもって働き、働き続けるため、将来設計について考える機会や、実体験を伝える（聞く）機会をつくる。

時期	実施内容				開催日	内容
4月					4/11	事務局 ワーキング
5月	就労部会（本会） 支援者向け研修				5/9	コア会議
6月					6/13	事務局 ワーキング
7月	特別支援学校 アセスメント 実習	お仕事ガイ ダンス	本人主体 フォーラム	事業所 オープン 見学会	8/3	コア会議
8月		相談支援連絡会との勉強会				
9月	企業見学会 （3か所程度）	・就労部会（本会） ・支援者向け研修				
10月					10/10	事務局 ワーキング
11月			11/14	コア会議		
12月					12/12	事務局 ワーキング
1月					1/9	コア会議
2月	就労部会（本会） 支援者向け研修				2/13	事務局 ワーキング
3月					3/12	コア会議

実施報告

●働く障がい者を主体とするフォーラム（障がい者雇用啓発・障がい理解啓発）【7月11日実施】

企業で働く方、就労支援事業所で働く方など、実際に働いている本人にスポットを当て、企業や地域の方へ発信し、障がい者雇用や障がいについて考える機会を作った。

●お仕事ガイダンス（子ども部会と合同企画）→事業所オープン見学会【7月～8月実施】

障がいのある子を持つ保護者を対象として、子どもの将来の働き方をイメージするためのヒントとなるガイダンスを開催した。

その後、保護者が事業所を見学できるよう、事業所公開日を設け各事業所の取り組みを知ってもらう機会を作った。

●就労支援事業所向け 支援者研修【本会（5月23日、8月10日、3月1日）開催時に実施】

第1回 気になるテーマを選択してディスカッション

①工賃について②利用者支援について③事業所運営について④一般企業と交流したい

第2回 企業における障がい者雇用について（エヌエフユー、寿産業、半田市役所）

第3回 就労支援B型事業所における工賃向上について（WOODLAND、すまいるずいこう）

●就労継続支援（B型）向け 企業見学会【9月～11月実施】

実際の企業で働くことを体感できるようなメニューで見学会を開催した。

第1回（株）エヌ・エフ・ユー 9月27日／第2回 半田市役所 業務支援室 10月19日

第3回 寿産業(株) 11月27日

●特別支援学校出前講座【10月17日】

ひいらぎ特別支援学校の高等部、中等部の学生及び保護者向けに障がい福祉サービスや卒業後の進路についての講座を開催した。

コア会議やワーキンググループで検討したこと

●就労アセスメントの実施に関すること

●相談支援専門員と連携した就労支援の仕組みづくり

第3期半田市障がい者保健福祉計画に基づく目標等

第4章 2. 就労支援【P.21】

第5章 （2）数値目標 ④福祉施設から一般就労への移行等【P.46】

（3）サービス見込み量 ②日中活動系【P.50】

本年度の目的

- ①障がい児支援に関わる支援者のスキルアップ。
- ②障がい児とその家族が将来のイメージや選択肢を持って子育てできるための情報提供。
- ③放課後児童健全育成事業と放課後等デイサービスの連携。

時期	実施内容	コア会議	内容
4月	4/26初任者研修(放デイWG①)	コア会議	・令和5年度実施企画の内容検討
5月	5/24初任者向け座談会(放デイWG①)	WG会議 (放デイ) コア会議	・令和5年度実施企画の内容検討
6月	6/28事業所意見交換会(放デイWG②) 6/12事業所見学会(コア) 6/1児童発達支援事業所意見交換会(児発WG)	コア会議	・令和5年度実施企画の内容検討
7月	7/11お仕事ガイダンス&障がい者雇用フォーラム(就労部会合同)(コア)	コア会議	
8月	8/3児発幼保意見交換会(発達支援コーディネーター・児発職員向け)(児発WG) 8/21事業所見学会(小・中学校、特別支援学校向け)(コア)	コア会議	
9月	9/20事例検討(放デイWG②) 9/3支援者向け研修(児発WG)(講師：大瀧和男氏(予))		・令和5年度実施企画の内容検討
10月	10/25中堅者研修(放デイWG①)	WG会議 (児童、 放デイ)	・令和5年度実施企画の内容検討
11月	11/3放課後支援ガイダンス(コア)	コア会議	・令和5年度実施企画の内容検討
12月	12/7管理者向け研修(放デイWG①)	WG会議 (放デイ)	・令和5年度実施企画の内容検討
1月	1/22児発幼保意見交換会(発達支援コーディネーター・児発職員向け)(児発WG)	コア会議	・令和5年度実施企画の内容検討
2月	2/21事例検討(放デイWG②) 2/14支援者向け研修(児発WG)(講師：福岡寿氏(予)) 2/26-3/3市内放課後等デイサービス事業所アート展開催(クラシティ)	WG会議 (放デイ)	・令和5年度実施企画の内容検討
3月		コア会議	・令和5年度実施企画の内容検討

※WG…ワーキンググループの略

実施報告

■将来の選択をイメージできるための情報提供

・放課後支援ガイダンス【対象者】年長児童の保護者47名

就学を迎える児童の保護者に対して放課後の支援に関する情報提供の場として、放課後等デイサービスと放課後児童健全育成事業の制度説明や市内放課後等デイサービス事業所の紹介を行いました。

・お仕事ガイダンス(就労部会合同企画)【対象者】特別支援学級・特別支援学校に通う児童の保護者47名

学齢期から将来の働く姿をイメージできるよう、就労に関する福祉サービスの説明やブース形式での事業所紹介、当事者の方の経験談をお話いただくフォーラムの3部制での開催をしました。

・事業所見学会①【対象者】幼稚園・保育園・こども園の職員(24名)

幼稚園等の職員を対象に、見通しを持った支援につなげるため、就学児が利用する放課後等デイサービスでの活動を見学しました。

(あおい→きらり)

・事業所見学会①【対象者】小中学校の職員(小学校:23名 中学校:8名)

小学校の先生を対象に、児童発達支援や放課後等デイサービスでの活動を見学し、中学校以降の先生には、卒業後のイメージが持てるよう就労系などの福祉サービス事業所の見学会を実施しました。

■支援者向け研修

【児童発達支援WG】

①「児発幼保合同意見交換会」令和5年6月1日、令和6年1月22日実施

対象者: 児童発達支援事業所職員、保育園・幼稚園等の職員、障がい児相談支援事業所の職員

内 容: 園と児発を併用しているお子さんの連携体制の強化について

②「支援者向け研修」令和5年9月3日

講 師: かずおメンタルクリニック院長 児童精神科医 大瀧 和男氏

対象者: 障がい児相談支援事業所の職員、保育園・幼稚園等の職員等

内 容: ・グレーゾーン(診断閾値下)の子どもたちの行方～見落としがちな子どもの理解と支援～

③「支援者向け研修」令和6年2月14日

講 師: 長野県自立支援協議会長 福岡 寿氏

対象者: 障がい児相談支援事業所の職員、保育園・幼稚園等の職員等

内 容: 集団の中で生きる具体的な支援

【放課後等デイサービスWG】

①「初任者研修」令和5年4月26日実施

講 師: 放デイWGメンバー

参加者: 1年目から3年目程度の現場職員43名

内 容: ・障がい児通所支援事業の目的、ライフステージと障がい特性を踏まえた支援、チーム支援(情報共有で伝えるコツ)について

②「中堅者研修」令和5年10月25日実施

講 師: 日本福祉大学 伊藤 修毅 氏

対象者: 4年目以降の現場職員22名

内 容: ・学齢期における障がいのある子どもたちの性と生について

③「管理者・児童発達支援管理責任者研修」令和6年2月14日実施

講 師: 社会保険労務士法人THINK ACT 代表取締役 志賀 弘幸氏

対象者: 児童発達管理責任者・管理者19名

内 容: 「業務課題の顕在化」「職場の人間関係」「効率的な業務の進め方」について等

第3期半田市障がい者保健福祉計画に基づく目標等

■第3期半田市障がい者保健福祉計画

第4章 1. 子どもの発達支援【P. 17】

■第2期半田市障がい児福祉計画

第3章 1. ライフステージに応じた切れ目のない支援【P. 5】

第3章 2. 保健・医療・福祉・保育・教育・就労等と連携した支援【P. 9】

第3章 5. 家族支援の重視【P. 19】

次年度以降の取り組み

■障がい児支援に関わる支援者のスキルアップ

支援者向け研修の開催

■障がい児とその家族が将来のイメージや選択肢を持って子育てできるための情報提供

放課後支援ガイダンス、お仕事ガイダンス

■課題検討

・保護者の就労による障がい児の預かりについて

・放課後児童クラブと放課後等デイサービスの協議の場の設置について

・障がい児の就労に向けた職場体験や社会体験の創出について

令和5年度権利擁護部会 年間活動報告

- ・合理的配慮の好事例集の冊子をきっかけとして、関係機関と連携し、更なる合理的配慮の普及啓発を検討した。
- ・合理的配慮を盛り込んだ観光マップ作成のためのぶらりまちあるきを実施し、市民の障がい理解、合理的配慮の普及啓発を行った。
- ・就労継続支援B型の利用者を対象とした研修を実施し、当事者の権利意識の向上に努めた。
- ・半田市主催のイベントに、合理的配慮の視点で参加し、配慮のある点や改善が必要な点をまとめて担当課へ報告した。
- ・「本人中心支援、意思決定支援」について、直接支援を提供する事業所職員へ理解を深めた。

時期	実施内容	コア会議	内容
4月		1回目 (4月13日)	・令和5年度の活動予定確認 ・合理的配慮収集・活動について(飲食店・まちあるき) ・就労継続支援B型の利用者を対象としたワークショップについて ・イベントへの意見だしについて ・本人中心支援・意思決定支援
5月	・【就労継続支援B型】利用者ワークショップ訪問研修(アコード)5月25日実施 25名参加 ・【ぶらりまちあるき】乙川小学校区 5月20日(土)		
6月	・【第1回権利擁護部会】5月16日(火)13:30 会議室404 ・【就労継続支援B型】利用者ワークショップ訪問研修(ヒカリノオト)6月20日実施 20名参加 ・合理的配慮収集「誰もが暮らしやすいまち はんだ」完成 ・【ぶらりまちあるき】横川小学校区 6月19日(月)		
7月	・【市イベント】衣浦みなとまつり参加(合理的配慮の視点)7月22日(土)		
8月	・【本人中心支援、意思決定支援】研修会の実施(事業所連絡会と合同)8月29日(火)14:00~ 81名参加 ・【就労継続支援B型】利用者ワークショップ訪問研修(カジュアルハウス)8月18日実施 22名参加	2回目 (8月30日)	・合理的配慮収集・活動について(飲食店・まちあるき) ・就労継続支援B型の利用者を対象としたワークショップについて ・イベントへの意見だしについて
9月	・【第2回権利擁護部会】9月8日(金)13:30 会議室403 ・【市イベント】ごんの秋まつり参加(合理的配慮の視点)9月20日(水)~10月4日(水)		
10月	・【ぶらりまちあるき】乙川小学校区 10月14日(土) ・【市イベント】はんだ山車まつり参加(合理的配慮の視点)10月28・29日(土・日)		
11月	・【ぶらりまちあるき】岩滑小学校区 11月11日(土) 半田・さくら・雁宿小学校区 11月18日(土) ・【市イベント】はんだシティマラソン(合理的配慮の視点)11月5日(日) ・【市イベント】はんだふれあい産業まつり参加(合理的配慮の視点・普及啓発)11月11日(土)		
12月	・【市イベント】半田市美術展・アールブリュット展参加(合理的配慮の視点)12月8日(金)~12月10日(日)		
1月		3回目 (1月24日)	・合理的配慮収集・活動について(飲食店・まちあるき) ・イベントへの意見だしについて ・令和5年度の活動報告について ・令和6年度の活動予定について
2月	・【第3回権利擁護部会】2月2日(金)13:30 会議室305		
3月			

実施報告

■虐待防止と差別解消のワークショップ（就労継続支援B型利用者向け）

市内就労継続支援B型の利用者を対象として、虐待防止と差別解消のワークショップを訪問型で実施した。（3箇所）

■合理的配慮の提供に係る関係機関等との連携について（コア会議でも検討）

・飲食店の合理的配慮の好事例の冊子を更新し、関係機関等へ周知し、障害者差別解消法（合理的配慮の提供）の普及啓発を実施した。また、飲食店の追加募集・取材を行い、市内飲食店の合理的配慮の提供について意識づけを行った。
・小学校区ごとのまちあるきをもとに、合理的配慮を盛り込んだ観光マップを作成し、関係機関等へ周知し、障がい理解及び合理的配慮の提供についての普及啓発を行った。また、令和5年度は、半田中学校区に加え、乙川中学校区でもまちあるきを実施し、子どもから高齢者、障がい当事者、事業所が一緒になって合理的配慮について考えた。

■半田市が主催するイベントについて

半田市が主催するイベント（6つ）に合理的配慮の視点で参加し、配慮のあった点、配慮が必要な点を確認し、各担当課へ来年度以降の参考にさせていただくよう依頼をした。

■「本人中心支援、意思決定支援」研修会の実施（事業所連絡会と合同）

直接支援を提供する市内の障がい福祉サービス事業所の職員に対して事業所連絡会と合同で研修を実施した。

コア会議やワーキンググループで検討すること

■合理的配慮の提供に係る関係機関等との連携について（コア会議でも検討）

・飲食店の合理的配慮の好事例の冊子を更新し、関係機関等へ周知し、障害者差別解消法（合理的配慮の提供）の普及啓発を実施した。また、飲食店の追加募集・取材を行い、市内飲食店の合理的配慮の提供について意識づけを行った。
・小学校区ごとのまちあるきをもとに、合理的配慮を盛り込んだ観光マップを作成し、関係機関等へ周知し、障がい理解及び合理的配慮の提供についての普及啓発を行った。また、令和5年度は、半田中学校区に加え、乙川中学校区でもまちあるきを実施し、子どもから高齢者、障がい当事者、事業所が一緒になって合理的配慮について考えた。

■障害者差別解消法の市民啓発について

障害者差別解消法に関する効果的な市民啓発方法を検討する。

第3期半田市障がい者保健福祉計画に基づく目標等

第4章 4. 権利擁護と差別解消【P. 25】

令和5年度地域移行部会 年間活動報告

長期入院者、入院者の地域移行に係る取組みを継続的に行う

時期	実施内容	コア会議	内容
4月	地域移行部会 訪問先、訪問時の聞き取り内容、医療と福祉の連携 シートについて		
5月			
6月			
7月	・ 障がい者入所施設まどか、ひがしうらの家に訪問 ・ 蔵王苑に訪問		
8月			
9月			
10月			
11月			
12月	地域移行部会 障がい者入所施設入所者への訪問支援、精神科病院訪 問、来年度の体制、障害福祉サービス報酬改定、地域 移行部会参加メンバーについて検討		
1月			
2月	「精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム（に も包括）」についての研修		
3月			

実施内容

○障がい者入所施設入所者訪問支援について

R4年度に実施したアンケート結果において「環境を整えつつ退所を検討したい」と返答の得られた4名を対象に訪問支援を行った。内、2名は具体的な退院支援と繋がり、グループホームや日中支援の場の見学や体験利用を行うことができた。今後は「現状として退所に向けた支援を見込むことが難しい方々」に対してどのような方法で情報提供や意思決定支援を行っていくのの検討が必要になっている。

○精神科病院長期入院者に係る検討

今年度は圏域内の精神科病院への訪問面談を予定していたが、コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症により実施が難しかった。令和6年度からは愛知県において市町村長同意による医療保護入院者に対しての入院者訪問支援事業が実施される見込みであり、対象が被らないように実施していく必要があると思われる。引き続き圏域内の精神科病院への協力を依頼していく。

第3期半田市障がい者保健福祉計画に基づく目標等

第4章3地域での生活支援【P23】(1)(2)(3)

第5章4(2)①福祉施設入所者の地域生活への移行②精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築③地域生活支援拠点等有する機能の充実

次年度以降の取り組み

本部会について、地域移行に係る検討会として改組し、地域移行に係る継続的な取り組みを行う。

令和5年度地域生活支援拠点等部会 年間活動報告

地域生活支援拠点等について現状評価及び機能強化に係る検討等を実施する。

時期	実施内容	コア会議	内容
4月			
5月			
6月			
7月		7/7	計画について
8月			
9月			
10月	10/3 体験的宿泊事業に係る説明会		
11月			
12月			
1月			
2月	2/22 にも包括に係る勉強会	書面会議	地域生活支援拠点等に係る評価
3月			

実施内容

第4期半田市障がい者保健福祉計画策定のために現状分析及び課題抽出を行った。

地域生活支援拠点の機能強化等に係る検討
令和4年度地域生活支援拠点等に係る評価を踏まえ、体験の機能について機能強化を図るため事業所向け説明会を実施した。

事務局が国の検討会等に関与し、地域生活支援拠点等に係る情報収集を行い、地域生活支援拠点等コーディネーターの配置についての検討を行った。

コア会議やワーキンググループで検討したこと

令和5年度地域生活支援拠点等の評価を行った。

第3期半田市障がい者保健福祉計画に基づく目標等

第4章3地域での生活支援【P23】(1)(2)(3)
第5章4(2)②精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築③地域生活支援拠点等が有する機能の充実

令和5年度医療的ケア支援に係る検討会 年間活動報告

(定例的な取組)

■ 医療的ケア児・者の近況把握等

■ 個別避難計画の策定

(課題等に対する取組)

■ 教育・保育の保障についての検討

■ 放課後の居場所の確保に関する検討

■ 防災について（緊急時・災害時を想定した支援体制（電源の確保等）についての協議）

■ 電子連絡帳（医療・介護・保健・福祉連携システム）を利用した関係機関の連携

■ 半田市内における小児在宅医療体制の充実

時期	実施内容	コア会議	内容
4月			
5月			
6月			
7月	7/10（月） 第1回医療的ケア支援に係る検討会 （医療的ケア児の近況の共有/課題整理及び実施方針について/医療的ケア児の教育と保育の保障について）	●	コア会議
8月			
9月			
10月	10/30（月） 医療的ケア者ワーキング （医療的ケア者の近況の共有/医療的ケア者・児の災害時の備え（日常生活用具への非常用電源装置の項目追加）について/ぼうさいMYプラン作成後の活用について）		
11月			
12月			
1月	医療的ケア児ハンドブックの完成（予定）		
2月		●	コア会議
3月	3/11（月） 第2回医療的ケア支援に係る検討会（予定） （医療的ケア児の近況の共有/課題整理及び実施方針について/医療的ケア者・児の災害時の備え（日常生活用具への非常用電源装置の項目追加）について）		

活動実績

【災害時の備え（日常生活用具への非常用電源装置の項目追加）】

◇人工呼吸器等の電源を必要とする医療デバイスを使用している医療的ケア者・児について、災害時における電源確保に関する課題について、他自治体の状況等を調査し、対応策を検討する。

⇒（結果）令和6年度から日常生活用具へ非常用電源装置（人工呼吸器用バッテリー、発電機、ポータブル電源）の項目を追加するため、予算要求を行っている。

【医療的ケア児の家族支援】

◇医療的ケアを必要とする子どもの保護者向けハンドブックを作成し、家族支援につなげる。

⇒（結果）令和5年度内中に医療的ケアを必要とする子どもが活用できる各種制度、制度利用者の実際の体験談、好事例等をまとめたハンドブックの作成完了（令和6年1月頃）。

【電子連絡帳を利用した関係機関の連携】

◇電子連絡帳（医療・介護・保健・福祉連携システム）を使用して、関係機関が医療的ケア児の状況をシステム上で把握できるよう、当該医療的ケア児の保護者、支援者等の利用について、必要な調整を行う。

⇒（結果）令和5年度にタブレットを導入し、電子連絡帳（医療・介護・保健・福祉連携システム）を使用できる環境を整えることができた。しかしながら、すべての関係機関が同じ仕組みを使用しているわけではないため、初年度は実際の支援に活躍するまでは至らず、活用面で課題を残した。

コア会議やワーキンググループで検討すること

【コア会議】

- ・年間の活動計画について協議する。
- ・教育と保育の保障、防災について協議する。
- ・医療的ケア児の取り巻く課題について協議する。

【医療的ケア者ワーキンググループ】

- ・市内在宅の医療的ケア者5名の近況把握を行い、本人が生活するうえで必要な福祉サービス等の支援体制について課題の整理を行なう。
- ・緊急時・災害時のプラン作成（※未作成者）及び作成後の内容の共有、活用について検討を行う。

■第3期半田市障がい者保健福祉計画

第4章5．多様化・高度化する障がい支援への対応【P.27】

■第2期半田市障がい児福祉計画

第3章4．特別な支援が必要な児童への支援体制の整備【P.16】

第3章5．家族支援の重視【P.19】

第3章6．地域社会への参加包容の推進と合理的な配慮【P.21】

第4章2．障がい児支援の提供体制の確保に係る目標【P.35】

令和5年度行動障がいに係る支援体制検討会活動報告

本年度の目的：強度行動障がい支援者養成研修の対象者の見直しや研修以外の手法の検討等を行いながら、行動障がいへの支援について、継続的に取り組んでいく。

時期	実施内容	コア会議	内容
4月		4/7	今年度予定打ち合わせ
5月			
6月	・強度行動障がい支援者養成研修（実践研修） 【1日目】12日 【2日目】13日 ・専門家派遣事業：愛厚半田の里 24日		
7月	先進地視察 25日、26日	7/14	研修打ち合わせ
8月	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修） 【1日目】4日 【2日目】7日		
9月	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修：フォロー）① 11日	9/5	研修打ち合わせ
10月	・強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修：フォロー）② 11日 ・専門家派遣事業：愛厚半田の里 17日		
11月	専門家派遣事業：JJヒマワリ 7日、9日		
12月	専門家派遣事業：JJヒマワリ 22日		
1月	専門家派遣事業：愛厚半田の里 30日		
2月			
3月		3/14	次年度打ち合わせ

実施報告

強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）

【基礎：1日目】8月4日

【基礎：2日目】8月7日

【フォロー：1日目】9月11日

【フォロー：2日目】10月11日

研修対象について、学校関係者にも周知し実施。半田市、常滑市合同で冰山モデル等を用いた基礎的な内容の研修を行った。

また、基礎研修で学んだ知識の定着を図るため、冰山モデルの振り返り講義と演習を行うとともに、受講者自身の支援ケースについて、課題シート作成に取り組んでもらった。

講師：生活支援センターわたぼうし 大田氏、PakaPaka 土肥氏、JJヒマワリ 福田氏、半田市障がい者相談支援センター 法安氏、全国手をつなぐ育成会 小島氏、常滑市役所 竹内氏
参加者：36名

強度行動障がい支援者養成研修（実践研修）

【1日目】6月12日

【2日目】6月13日

チーム支援の中核になる人材育成を目標として支援手順書作成等に係る内容の研修を行った。

講師：生活支援センターわたぼうし 大田氏、PakaPaka 土肥氏、JJヒマワリ 福田氏、半田市障がい者相談支援センター 法安氏、愛知県医療療育総合センター中央病院 吉川氏
参加者：13名（9事業所）

コア会議やワーキンググループで検討したこと

報酬改定に係る新たな研修や集中的支援の新設を踏まえつつ、改めて今後の方針について協議した。

また、専門家派遣事業について、要望のあった2事業所への検討会メンバーの派遣を通して事業の枠組みについて整理を行っている。

第3期半田市障がい者保健福祉計画に基づく目標等

第4章5. 多様化・高度化する障がい支援への対応【P. 27】

令和5年度学生に関する部会 年間活動報告

本年度の目的：学生の力を生かしてもらうことを中心に考えつつ、きょうだい児や不登校など制度のはざままで支援を必要とする子ども等に対する学生からの支援を行うため、情報発信・企画運営を行う。

時期	実施内容	コア会議	内容
4月	・半田市の地域福祉活動の現状について ・年間活動計画の確認 ・学生検討会メンバー顔合わせ	第2木曜 4/12 (木)	定例打合せ 4/27 (木) ・年間計画の共有
5月	研修「きょうだいの気持ちを知る」 5/25 (木) (「きょうだい児支援」についての勉強会) 参加者数：約10名	第2木曜 5/11 (木)	定例打合せ 5/25 (木) ・勉強会の内容決め
6月	・「きょうだい会」の企画出し (WHJとのコラボ企画)	第2木曜 6/8 (木)	定例打合せ 6/22 (木) ・「きょうだい会」の準備
7月	・「みんなで遊ぼう会」の企画出し (水遊び)	第2木曜 7/13 (木)	定例打合せ 7/20 (木) ・「みんなで遊ぼう会」の事前準備
8月	・9月開催の「きょうだい会」「みんなで遊ぼう会」最終調整	第2火曜 8/8 (火)	定例打合せ 8/24 (木) WHJフリースペースにて BBQの打合せ
9月	・イベント「みんなで遊ぼう会」9月2日 (土) (水遊び) 参加者数：約30名 ・イベント「きょうだい会」9月17日 (日) (BBQ) 参加者数：約20名	第2木曜 9/13 (水)	定例打合せ 9/28 (木) ・イベントの反省とBBQの打合せ
10月	・定例会未開催	第2木曜 10/12 (木)	・今後のイベントの企画
11月	・年内活動 (イベント) についての話し合い ・学生勧誘に向けたリーフレット作成	第2木曜 11/9 (木)	定例打合せ 11/16 (木) ・3月開催予定のイベントの企画 リーフレット作成の企画
12月	・3月開催予定「みんなで遊ぼう会」の企画 公式LINE開設計画	第2木曜 12/7 (木)	定例打合せ 12/14 (木) ・3月イベントの企画報告と計画
1月		第2木曜 1/18 (木)	定例打合せ 1/25 (木) ・3月イベントの調整 ・リーフレットの完成
2月		第2木曜 2/14 (木)	定例打合せ 2/22 (木) ・3月イベントの調整
3月	・イベント「みんなで遊ぼう会」3月2日 (土) (工作) 参加者数：約20名		

実施内容

障がい児・きょうだい向けイベント（きょうだい会）企画

障がい児とそのきょうだい、家族が共に参加できるイベントを企画し、継続実施することでプラットフォーム機能を確立させ、きょうだい同士の交流や学生との交流を図る。

学生サポーターの実施（訪問型支援）

引きこもりなどの子どもに対して、学生が自宅へ訪問して話し相手になるなどの支援を行うため、ケース調整や情報共有を行う。

きょうだい会での交流などを生かし、不登校や引きこもり等、制度のはざままで支援を必要とする課題に対する参加の場づくりに発展させていく。

学生向けに研修の実施

学生の興味関心を広げ、学生ならではの発想で新たな取り組みを見出すきっかけにすることを目的に、“きょうだい児”や、半田の現状（制度のはざままで支援を必要とする課題）について学ぶ機会を設ける。

コア会議やワーキンググループで検討すること

学生の力を生かすことができるよう、学生から積極的に意見を出してもらう・学生が積極的に参加するための仕掛けや情報発信について検討する。

学生個人の興味・関心に任せるだけではなく、大学サークルなど大学との関わりの中で学生が活動できるような調整を行う。

第3期半田市障がい者保健福祉計画に基づく目標等

第4章 7. 福祉人財の育成【P.33・34】

令和5年度事業所連絡会 年間活動報告

本年度の目標：

- ・福祉サービス事業所の質の向上についての研修（現場職員向け研修 全7回）
- ・令和5年度末に策定必須となる自然災害発生時BCP及び感染症発生時BCP作成のための勉強会を開催（再）
- ・虐待防止・身体拘束等の事業所適正化に関する研修（フォローアップ）（虐待防止連絡協議会合同）
- ・「本人中心支援、意思決定支援」研修会の実施（権利擁護部会と合同）

時期	実施内容（予定）	コア会議	内容（予定）
4月			
5月		5/8 5/23 5/30	・第1回現場職員向け研修打合せ ・今年度の活動予定確認 ・第2回現場職員向け研修打合せ
6月	現場職員向け研修 6/5 第1回「半田市の福祉サービスや社会資源を知ろう！」 6/23第2回「発達障がい疑似体験と家族の思いについて」	6/6	・第3回現場職員向け研修打合せ
7月	現場職員向け研修 7/4 第3回「発達障がい児へのほめ方、しかり方」		
8月	8/29本人中心支援、意思決定支援研修会（権利擁護部会と合同）	8/25	・自然災害発生時BCP及び感染症発生時BCPの作成推進のための勉強会について
9月	9/26虐待防止・身体拘束等の事業所適正化に関する研修（フォローアップ）（虐待防止連絡協議会合同）	9/12 9/25	・第4回現場職員向け研修 ・自然災害発生時BCP及び感染症発生時BCPの作成推進のための勉強会について
10月	現場職員向け研修 10/10第4回「身体障がいのある方への支援のポイント」 10/13自然災害発生時BCP及び感染症発生時BCPの作成推進のための勉強会（再）	10/4	・第5回現場職員向け研修打合せ
11月	現場職員向け研修 11/1 第5回「高次機能障がいのある方への支援のポイント」	11/7 11/9	・第6回現場職員向け研修打合せ ・第7回現場職員向け研修打合せ
12月	現場職員向け研修 12/7 第6回「精神障がいのある方への支援のポイント」 12/18第7回「知ってください、ピアサポートの意義」		
1月	1/15自然災害発生時BCP及び感染症発生時BCPの策定状況アンケート実施		
2月	2/27報酬改定と審査請求に関する勉強会 「障がい福祉サービス等報酬改定からみる今後必要な支援とは？」	2/9	・令和5年度の活動報告について ・令和6年度の活動予定について
3月			

実施報告

- ・福祉サービス事業所の質の向上についての研修（現場職員向け研修の実施 全7回）
- ・8/29本人中心支援、意思決定支援研修会（権利擁護部会と合同）
- ・9/26虐待防止・身体拘束等の事業所適正化に関する研修（フォローアップ）（虐待防止連絡協議会合同）
- ・10/13自然災害発生時BCP及び感染症発生時BCPの作成推進のための勉強会
- ・2/27報酬改定と請求審査に関する勉強会「障がい福祉サービス等報酬改定からみる今後必要な支援とは？」

8月 本人中心支援、意思決定支援研修会の実施（権利擁護部会と合同）

直接支援を提供する市内の障がい福祉サービス事業所の職員に対して事業所連絡会と合同で研修を計画し、実施した。

9月 虐待防止・身体拘束等の事業所適正化に関する研修（フォローアップ）（虐待防止連絡協議会合同）

令和4年度から義務化となった身体拘束の適正化に関する事業所体制の推進を図るため、事業所の整備体制の確認や事例を取り上げ対応等について情報共有を行うため、市内障がい福祉サービス等事業に対して障がい者虐待防止、身体拘束等の適正化に関する研修を行った。今後も継続して行っていく。

自然災害発生時業務継続計画及び感染症発生時業務継続計画の作成推進のための勉強会（再）

8～10月 勉強会に向けての打合せ

9月 事業所に対してBCP作成依頼及び感染症BCP・自然災害BCP作成状況を勉強会出欠確認に合わせて実施。

10月 自然災害発生時業務継続計画及び感染症発生時業務継続計画の作成推進のための勉強会実施

1月 感染症BCP・自然災害BCP策定状況アンケート実施

2月 報酬改定と請求審査に関する勉強会（療育等支援事業・地域アドバイザー事業共催） 「障がい福祉サービス等報酬改定からみる今後必要な支援とは？」

障がい福祉事業所職員・相談支援専門員を対象として、地域で暮らす支援体制についての勉強会実施

コア会議やワーキンググループで検討すること

課題に対する疑問等を確認するための聞き取り調査について
研修の内容やフォローアップについて

次期計画（第3期半田市障がい者保健福祉計画）に基づく目標等

第4章 6. サービスの質の向上

第5章 (2) 数値目標 ⑥障がい福祉サービス等の質を向上させるための取組みに係る体制の構築

令和5年度相談支援連絡会活動報告

本年度の目的：相談支援の質の向上と他分野交流での連携強化を実施する。

時期	実施内容	コア会議	内容
4月	28日 ①グループスーパービジョン ②多分野交流「障害年金」		
5月	26日 ①グループスーパービジョン ②多分野交流「就労支援について」		
6月	23日 ①グループスーパービジョン ②多分野交流「児童の年間動き、半田ルール」		
7月	28日 ①グループスーパービジョン ②多分野交流「ファシリテート」		
8月	25日 ①グループスーパービジョン ②多分野交流「成年後見・日常生活自立支援事業」		
9月	22日 ①グループスーパービジョン ②多分野交流「精神科訪問看護」		
10月	24日 勉強会「人材育成について」 (圏域合同)		
11月	24日 ①グループスーパービジョン ②多分野交流「介護保険について」		
12月	22日 ①グループスーパービジョン ②多分野交流「障がいから高齢へのサービス移行について」		
1月	26日 ①グループスーパービジョン ②多分野交流「来年度の計画について」		
2月	27日 勉強会「令和6年度制度変更について」 (圏域合同)		
3月	22日 ①グループスーパービジョン ②多分野交流「報酬改定に係る事務連絡について」		

実施報告

毎月開催【事例検討会】

相談支援のスキルアップを目的として、事例検討とグループスーパービジョンを毎月開催した。事例提供は各市内相談支援事業所から行ってもらった。

【勉強会】

下記について、毎月の事例検討とは別に開催した。

【内容】

●10月24日（勉強会①）「人材育成について」（圏域合同）

講師：ソラティオ岡部氏

●12月22日（勉強会②）「障がいから高齢へのサービス移行について」（ケアマネ・相談員合同）

講師：包括支援センター

●2月27日（勉強会③）「令和6年度制度変更について」（圏域合同）

講師：育成会又村氏

コア会議やワーキンググループで検討したこと

【事例検討会と県主催の相談支援研修のファシリテーターの養成について】

勉強会として、相談支援・障害福祉サービスの基本事項を実施し質の向上を図ることに併せて、ファシリテータを担えるような人材の育成について取り組んだ。

【モニタリング結果の検証について】

モニタリング結果の検証について、これまで毎月の事例検討の中でも実施してきたところであるが、改めて枠組みについて整理した。

第3期半田市障がい者保健福祉計画に基づく目標等

第4章 6. サービスの質の向上【P. 29・30】(1)、(2)

第5章 (2)数値目標

⑤相談支援体制の充実・強化等【P. 47】